

茅ヶ崎市げんき基金活用事業

『シェーナウの想い』 - 自然エネルギー社会を子どもたちに -
上映会 & 講演会「減電社会に向けて」

無料



第1回茅ヶ崎映画祭
参加作品



ドイツ史上初！！

「市民の市民による
市民のための」電力供給
会社を誕生させる
までに至った軌跡を
綴るドキュメンタリ
ー映画。

【月日】2012年6月2日(土)

【会場】茅ヶ崎市文化会館 小ホール

JR茅ヶ崎駅北口より徒歩8分

【映画 午前の部】10:30~11:40

【講演会】 11:50~12:50

【映画 午後の部】13:05~14:15

【託児】先着10名(各回)

*要予約(5月20日~29日)

託児申し込み先: 0467-73-0545 上野ひろみ

【その他】できるだけ、徒歩・自転車・公共交通機関をご利用の上、ご来場下さい。

文化会館の駐車場は収容台数が少ないので(60台)満車の場合
は市営駐車場をご利用ください。

国道1号線方面より市営駐車場をご利用の場合は地図内の
矢印の道順で入庫してください。



おざわ しょうじ
小澤 祥司さん

(環境ジャーナリスト)



主催: ちがさき自然エネルギーネットワーク

協力: ミツバチの羽音と地球の回転茅ヶ崎上映実行委員会・ピースカフェちがさき

<ストーリー> ドイツ南西部シェーナウ市。人口 2500 人の小さなまち。1986 年のチェルノブイリ事故の影響は、ここシェーナウ市にも及びました。そこでシェーナウ市の親たち数人が子どもたちを守るべく「原子力のない未来のための親の会」(親の会)を結成しました。まず始めたのが街中に情報スタンドを設置し、放射能から身を守るための情報を発信することでした。また原発依存から脱却するためには、エネルギー使用の意識変化も重要だという思いから、「節電キャンペーン」や「節電コンテスト」を行いました。さらに住民グループは、原発に頼らない電力供給、エコ電力の買い取り価格の引き上げ、そして節電を促すために基本料金を引き下げる一方で使用料金を引き上げることを、長きにわたりシェーナウ市と独占的に契約を結んでいた民間電力供給会社 KWR (ラインフェルデン電力会社) に提案をしますが、冷たくあしらわれてしまいます。そこで住民グループ(親の会)は「それなら自分たちで電力会社をつくってしまおう!」と立ち上がります。そして EWS (Elektrizitätswerke Schönau; シェーナウ電力会社) を発足させます。彼らは KWR を相手に 2 度にわたる住民投票を勝ち抜き、シェーナウ市の電力供給の認可を勝ち取ります。しかし、電力供給を実現するためには、KWR が所有する電力網を買い取る必要がありました。シェーナウ市との電力供給契約を失った KWR は、この電力網の引き継ぎにあたって不当なまでに多額の価格を提示。それでも住民グループは諦めませんでした。社会目的に積極的に融資をする G L S 銀行や広告会社の無償の協力、さらには人々の善意の寄付のおかげで無事電力網を手にするに至りました。1997 年、EWS は念願の電力供給を開始。チェルノブイリ事故をきっかけにした親の会発足から操業に至るまでに実に 10 年もの歳月が流れていました。EWS で働く人たちは、今日もドイツにいるたくさんの人たちに原発に頼ることのない自然エネルギーをメインとしたエコ電力を供給しています。

小澤 祥司さん プロフィール

環境ジャーナリスト / 環境教育コーディネーター 季刊ソーラーシステム・エディター 静岡県生まれ。
執筆・研究テーマは、生物多様性保全、再生可能エネルギー、環境エネルギー政策、持続可能な地域社会、環境保全活動や企業の社会的責任 (CSR) など。
自宅には、3kW の太陽光発電、240 リットルの太陽熱温水器とペレットストーブを導入。
日本太陽エネルギー学会会員・日本大学生物資源科学部非常勤講師 (エコシステム工学) 08 年 ~ 11 年
著作: コミュニティエネルギーの時代へ (岩波書店) メダカが消える日自然の再生をめざして (岩波書店)
飯館村 6000 人が美しい村を追われた (七つ森書館) 他多数

茅ヶ崎映画祭「街と人がつながる、手作りの映画祭」

6 月 1 日 (金) ~ 6 月 10 日 (日) だけ、市内のレストラン・カフェ・旅館などがミニシアターに!!
有志の 10 団体 (個人) が茅ヶ崎にゆかりのある作品を中心に、全 11 作品を上映します。

ちがさき自然エネルギーネットワーク

CHIGASAKI RENEWABLE ENERGY NETWORK (REN)

1999 年 3 月設立。地球温暖化防止と持続可能な社会を目指して、出前授業・講演会の開催などの活動を行いながら、自然エネルギーの普及啓発と省エネを推進しています。

茅ヶ崎市から公共施設の屋根をお借りして、市民・事業者からの寄付を募り、市民立太陽光発電所「れんこちゃん 1 号」(茅ヶ崎市民活動サポートセンター 7.77kW 2009 年 7 月)「れんこちゃん 2 号」(茅ヶ崎市こどもセンター 7.98kW 2011 年 3 月)を設置しました。グリーン電力証書の認証も受け、資金の循環するしくみを整え、「れんこちゃん 3 号」設置に向け活動しています。

エネルギー自給率 4% という、先進国の中では最低の日本。降り注ぐ太陽の恵みをいかして、茅ヶ崎で産まれた電気を茅ヶ崎で消費し、エネルギー自給率アップを目指します。